

# 国指定史跡 高山城跡

昭和32年12月11日指定



高山城は鎌倉・室町時代を通じて小早川氏が本拠地とした山城で、沼田小早川4代当主茂平が建永元(1206)年に築城したと伝わる。

標高190.2m、谷を挟んで南北に曲輪群が配置されている。

17代当主隆景が、天文20(1551)年に高山城に入り翌年6月に対岸の新高山へ移ったことで、約350年間続いた本拠地としての役目を終える。

高山城は昭和32(1957)年に新高山城、三原城と共に国史跡に指定される。



## 本郷町観光協会

広島県三原市本郷南5丁目26-11

TEL・FAX 0848-86-5717

(平日 9時～12時)

ガイド予約受付中



# 高山城跡 (蓮郭式山城)



**① 堀切**  
尾根筋から登って来た敵を遮断するための深い空堀



**② 土塁**  
土を盛り上げた塁で南東の曲輪で、確認できる土塁  
\*土塁高さ2m



**③ イワオ丸**  
この曲輪には大岩が露出し、広い空間と大岩には柱跡の窪みが3箇所ある



**④ 谷間の平坦地**  
谷にある平坦地に建築があったと言われている



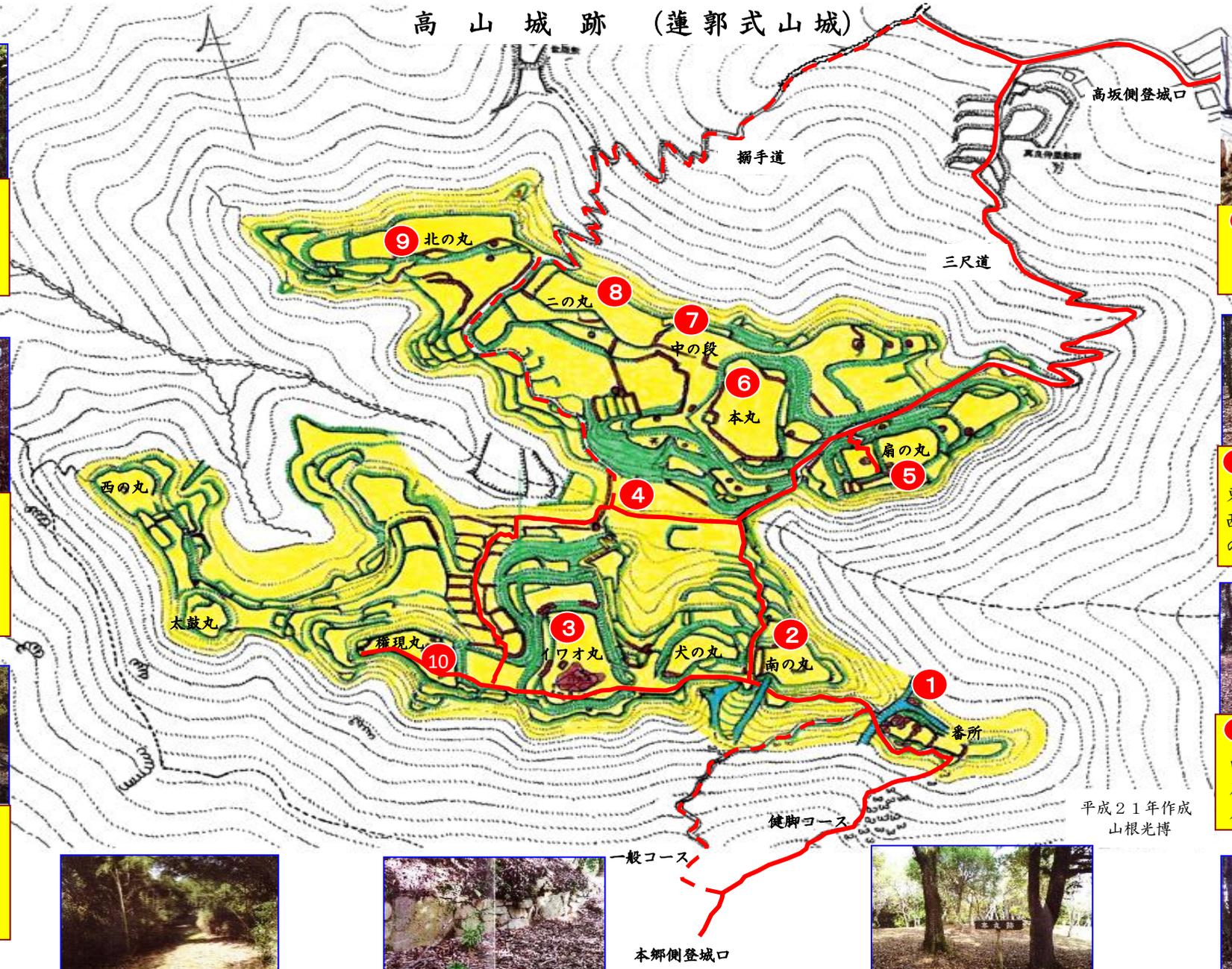
**⑤ 扇の丸の石垣**  
中心に立石を配する手法は吉川館跡などと類似している



**⑥ 本丸**  
高山城の中心曲輪であって周囲の矩面には立石を利用した石垣群がみられる



**⑦ 中の段**  
本丸と二の丸の間の曲輪



**⑩ 権現丸**  
三角点のある山頂標高190.2m



**⑨ 北の丸**  
東西に伸びる広い曲輪で西方には基壇らしき石積のある曲輪がある



**⑧ 二の丸**  
曲輪の東と南側には大石で積まれた石垣が存在する

平成21年作成  
山根光博